

DAIFUKU

Automation that Inspires

株式会社ダイフク <6383>

2022年3月期 第2四半期

(2021年4月1日 ~ 2021年9月30日)

決算説明資料

2021年11月5日



業績ハイライト p. 2

業績見通し p. 15

トピックス p. 18

目次へ

業績ハイライト



（億円）

	2021/3期H1	8/5 修正公表	2022/3期H1	対前年 増減額	対前年 増減率
受注高	1,893	2,700	2,672	+779	+41.2%
売上高	2,300	2,400	2,434	+134	+5.8%
営業利益	196	205	203	+6	+3.3%
経常利益	203	211	205	+1	+1.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	147	150	139	▲8	▲5.5%
包括利益	136	—	205	+68	+50.3%
1株当たり四半期純利益	116.98円	119.08円	110.46円	▲6.52円	

✓ 商談が停滞した前年同期から、国内を中心に大幅に回復

✓ 豊富な受注残高をベースに前年同期を上回る水準で推移

✓ 国内の一般製造業・流通業向けがけん引

(億円)

(参考) 為替換算差
売上高：+47億円



(億円)

	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	2021/3期 H1	2022/3期 H1	増減額	2021/3期 H1	2022/3期 H1	増減額	2021/3期 H1	2022/3期 H1	増減額
ダイフク	812	1,300	+488	999	1,071	+71	97	106	+9
コンテック	76	98	+21	78	71	▲6	5	6	+0
DNAHC _{※1}	378	503	+124	678	662	▲16	27	25	▲2
CFI _{※2}	216	185	▲31	138	171	+33	20	16	▲3
その他	408	585	+176	393	462	+69	10	▲2	▲12
連結調整等	-	-	-	11	▲6	▲17	▲14	▲13	+0
合計 (調整後)	1,893	2,672	+779	2,300	2,434	+134	147	139	▲8

✓ ダイフク：
各事業とも順調に推移。

✓ DNAHC：
受注は一般製造業・流通業向け、半
導体生産ライン向けが好調。
売上は前期に計上した自動車生産ラ
イン向け大型案件の反動減。

✓ CFI：
受注はデータセンター用の半導体需要増
がけん引した前年同期の水準に及ばず。
売上は受注残高をベースに順調に推移。

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 CFI = Clean Factomation, Inc.

(億円)

	2021年3月末	2021年9月末	増減額
流動資産	3,506	3,633	+127
現金及び預金	941	1,085	+143
売上債権	2,119	2,058	▲60
棚卸資産	363	392	+29
その他	81	96	+14
固定資産	948	970	+21
有形固定資産	495	523	+28
無形固定資産	100	99	▲0
のれん	42	41	▲0
その他	58	58	+0
投資その他の資産	352	346	▲6
資産合計	4,454	4,603	+149

	2021年3月末	2021年9月末	増減額
流動負債	1,491	1,595	+104
仕入債務	639	723	+84
短期借入金	155	205	+49
その他	696	667	▲29
固定負債	342	244	▲97
長期借入金	196	104	▲92
その他	146	140	▲5
負債合計	1,834	1,840	+6
株主資本	2,552	2,629	+77
資本金	318	318	-
利益剰余金	2,023	2,100	+76
その他	210	210	+0
その他の包括利益累計額	17	80	+62
非支配株主持分	49	53	+3
純資産合計	2,620	2,763	+142
負債純資産合計	4,454	4,603	+149

✓ 総資産：149億円増
 (主な要因)
 増加：現金及び預金 143億円
 減少：売上債権 60億円

✓ 負債：6億円増
 (主な要因)
 増加：仕入債務 84億円
 減少：長・短借入金(合算) 42億円

✓ 純資産：142億円増
 (主な要因)
 増加：利益剰余金 76億円

(億円)

	2021/3期H1	2022/3期H1	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	122	274	+151
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲42	▲43	▲0
フリー・キャッシュ・フロー	80	231	+151
財務活動によるキャッシュ・フロー	73	▲121	▲195
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲17	29	+47
現金及び現金同等物の増減額	136	139	+3
現金及び現金同等物の期首残高	708	940	+231
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	7	4	▲3
現金及び現金同等物の期末残高	852	1,084	+231

✓ 営業CF : 274億円収入超過
 (主な要因)
 税金等調整前四半期純利益 204億円
 売上債権及び契約資産の減少 122億円

✓ 投資CF : 43億円支出超過
 (主な要因)
 固定資産の取得による支出 43億円

✓ 財務CF : 121億円支出超過
 (主な要因)
 短期借入金の返済 50億円
 配当金の支払額 63億円

仕向地別受注高・売上高

(億円)

地域	国名	受注高				増減額	売上高				増減額
		2021/3期H1		2022/3期H1			2021/3期H1		2022/3期H1		
		受注高	構成比	受注高	構成比		売上高	構成比	売上高	構成比	
日本		687	36.3%	1,110	41.6%	+423	804	35.0%	876	35.9%	+71
海外		1,205	63.7%	1,561	58.4%	+356	1,495	65.0%	1,563	64.1%	+68
	北米	406	21.5%	455	17.1%	+49	709	30.9%	640	26.2%	▲69
	アジア	670	35.4%	859	32.2%	+188	659	28.7%	765	31.3%	+105
	中国	244	12.9%	285	10.7%	+41	264	11.5%	239	9.8%	▲24
	韓国	297	15.7%	270	10.1%	▲27	187	8.2%	255	10.5%	+67
	台湾	87	4.6%	239	9.0%	+152	158	6.9%	223	9.1%	+64
	その他	40	2.1%	63	2.4%	+22	48	2.1%	46	1.9%	▲1
	欧州	56	3.0%	120	4.5%	+64	58	2.5%	84	3.5%	+26
	中南米	9	0.5%	20	0.8%	+11	13	0.6%	25	1.0%	+11
	その他	62	3.3%	104	3.8%	+41	53	2.3%	48	2.1%	▲5
小計		-	-	-	-	-	2,300	100.0%	2,440	100.0%	+140
連結調整等*		-	-	-	-	-	-	-	▲6	-	▲6
合計		1,893	100.0%	2,672	100.0%	+779	2,300	-	2,434	-	+134

✓ 日本

受注、売上ともに一般製造業・流通業向けがけん引。

✓ 北米

前期に計上した自動車生産ライン向け大型案件の反動減。

✓ 台湾

受注はエレクトロニクス向けが好調。

* 収益認識に関する会計基準等の適用により表の内容を一部変更しております。

業種別受注高・売上高

(億円)

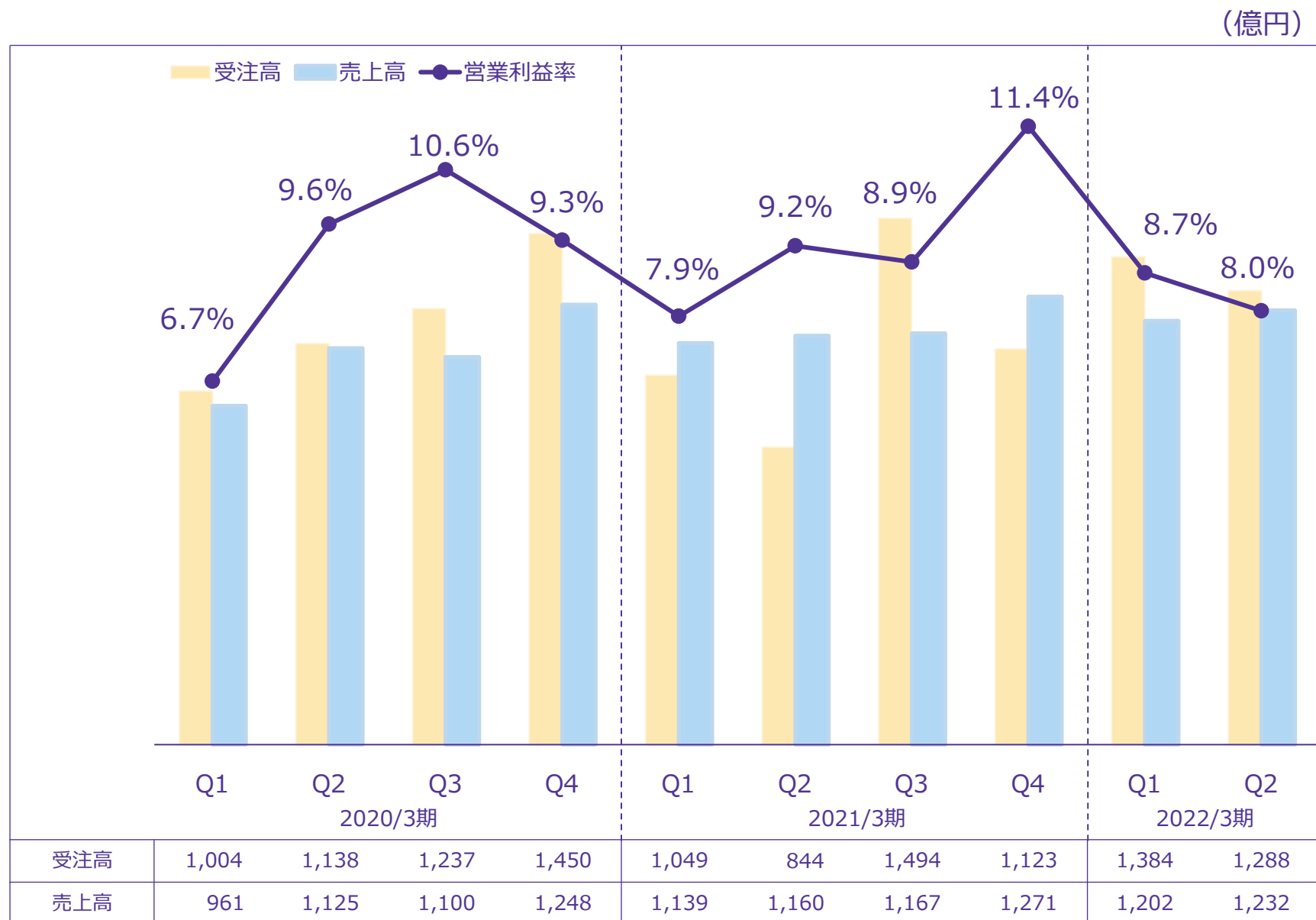
業種	受注高					売上高				
	2021/3期H1		2022/3期H1		増減額	2021/3期H1		2022/3期H1		増減額
	受注高	構成比	受注高	構成比		売上高	構成比	売上高	構成比	
自動車および自動車部品	239	12.7%	324	12.1%	+84	392	17.1%	277	11.4%	▲114
エレクトロニクス	621	32.8%	865	32.4%	+244	643	28.0%	720	29.5%	+76
商業および小売業	463	24.5%	837	31.3%	+373	579	25.2%	781	32.0%	+202
運輸・倉庫	117	6.2%	168	6.3%	+50	105	4.6%	139	5.7%	+33
機械	34	1.8%	55	2.1%	+21	66	2.9%	45	1.9%	▲20
化学・薬品	63	3.4%	102	3.8%	+38	89	3.9%	77	3.2%	▲11
食品	102	5.4%	70	2.6%	▲32	110	4.8%	96	3.9%	▲14
鉄鋼・非鉄金属	21	1.1%	25	1.0%	+4	17	0.8%	14	0.6%	▲2
精密機器・印刷・事務機	31	1.6%	28	1.1%	▲2	41	1.8%	30	1.3%	▲10
空港	135	7.1%	95	3.6%	▲39	190	8.3%	195	8.0%	+4
その他	62	3.4%	98	3.7%	+35	62	2.6%	61	2.5%	▲1
小計	-	-	-	-	-	2,300	100.0%	2,440	100.0%	+140
連結調整等*	-	-	-	-	-	-	-	▲6	-	▲6
合計	1,893	100.0%	2,672	100.0%	+779	2,300	-	2,434	-	+134

✓ 自動車および自動車部品
受注は商談が停滞した前年同期から回復。
売上は前期に計上した大型案件の反動減。

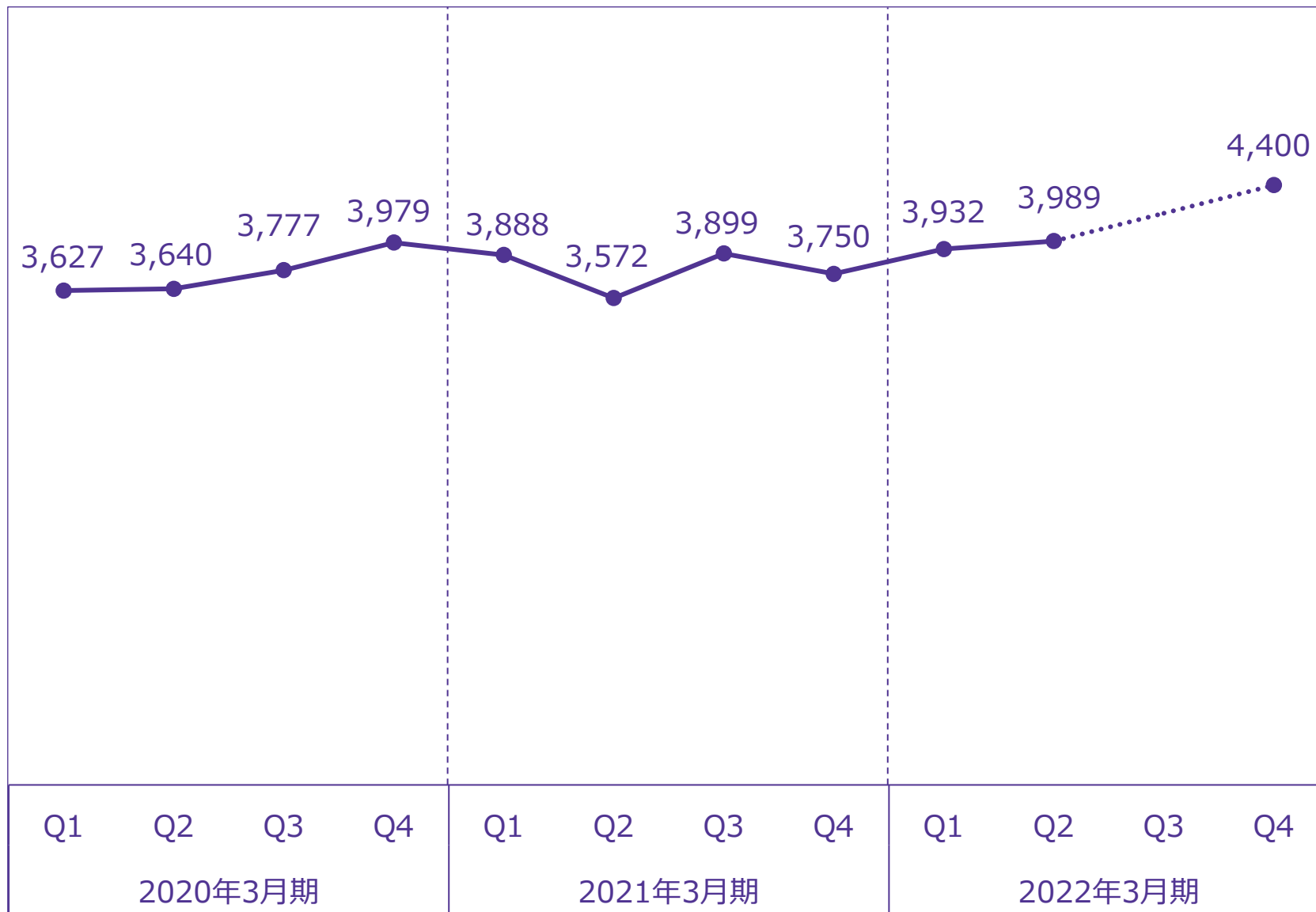
✓ エレクトロニクス
受注は半導体向け大型案件を受注。
売上は前期の受注が寄与。

✓ 商業および小売業
受注、売上ともに日本、北米のeコマース関連がけん引。

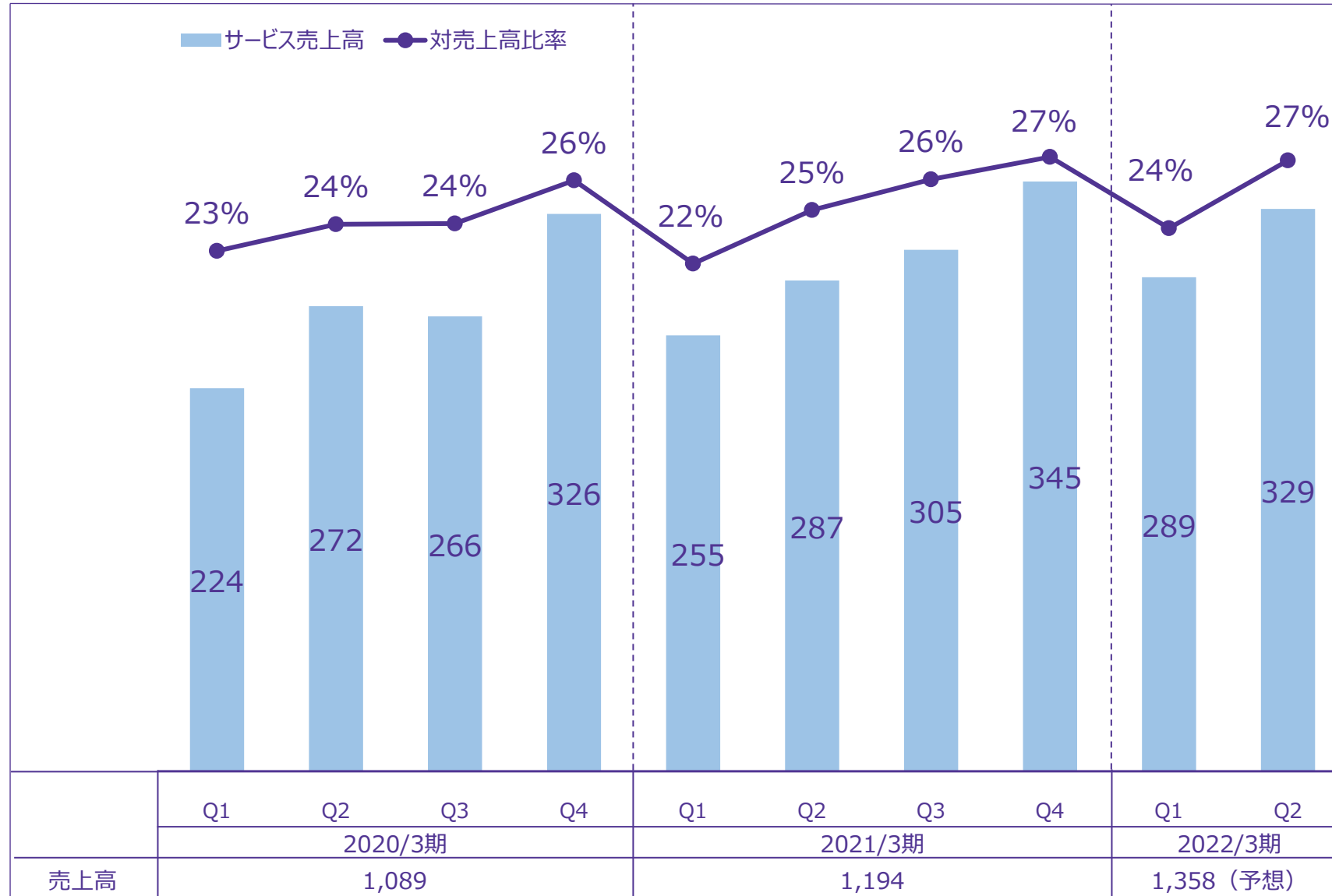
* 収益認識に関する会計基準等の適用により表の内容を一部変更しております。



(億円)



(億円)



業種別受注高 四半期推移

DAIFUKU

13

(億円)

業種	2020/3期				2021/3期				2022/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4	Q1	Q2 (b)	構成比	前年同期比 増減額 (b-a)
自動車および 自動車部品	130	152	469	146	151	88	111	139	153	170	13.2%	+81
エレクトロニクス	368	431	284	378	313	308	348	325	449	416	32.3%	+108
商業および小売業	168	221	168	386	277	186	577	322	401	435	33.8%	+248
運輸・倉庫	82	85	42	65	63	54	29	86	125	42	3.3%	▲11
機械	25	36	21	27	24	9	22	63	15	39	3.1%	+29
化学・薬品	50	38	52	42	32	31	36	39	43	58	4.5%	+27
食品	28	63	14	63	25	77	38	31	48	22	1.7%	▲54
鉄鋼・非鉄金属	13	16	17	6	12	9	8	7	16	9	0.7%	▲0
精密機器・ 印刷・事務機	16	9	12	37	12	18	12	17	11	17	1.3%	▲1
空港	89	41	114	230	105	29	269	56	77	17	1.4%	▲11
その他	30	40	39	64	31	30	39	31	39	58	4.7%	+27
合計	1,004	1,138	1,237	1,450	1,049	844	1,494	1,123	1,384	1,288	100.0%	+444

業種別売上高 四半期推移

DAIFUKU

14

(億円)

業種	2020/3期				2021/3期				2022/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4	Q1	Q2 (b)	構成比	前年同期比 増減額 (b-a)
自動車および 自動車部品	128	163	155	237	184	207	215	193	137	139	11.4%	▲67
エレクトロニクス	371	417	351	301	333	310	342	383	400	319	25.9%	+9
商業および小売業	163	211	233	253	255	323	262	313	372	409	33.2%	+86
運輸・倉庫	71	63	70	79	55	49	61	68	60	78	6.4%	+29
機械	26	28	38	41	39	26	24	22	20	24	2.0%	▲2
化学・薬品	28	42	31	50	43	46	47	45	39	38	3.1%	▲7
食品	17	25	38	49	62	48	33	33	30	65	5.3%	+16
鉄鋼・非鉄金属	11	15	12	14	7	10	12	14	5	9	0.7%	▲0
精密機器・ 印刷・事務機	21	25	31	35	19	21	25	20	15	14	1.2%	▲6
空港	89	93	98	138	104	85	105	116	95	99	8.1%	+13
その他	32	39	37	44	32	30	37	58	28	33	2.7%	+3
小計	961	1,125	1,100	1,248	1,139	1,160	1,167	1,271	1,207	1,232	100.0%	+72
連結調整等	-	-	-	-	-	-	-	-	▲5	▲0	-	▲0
合計	961	1,125	1,100	1,248	1,139	1,160	1,167	1,271	1,202	1,232	-	+71

目次へ

業績見通し

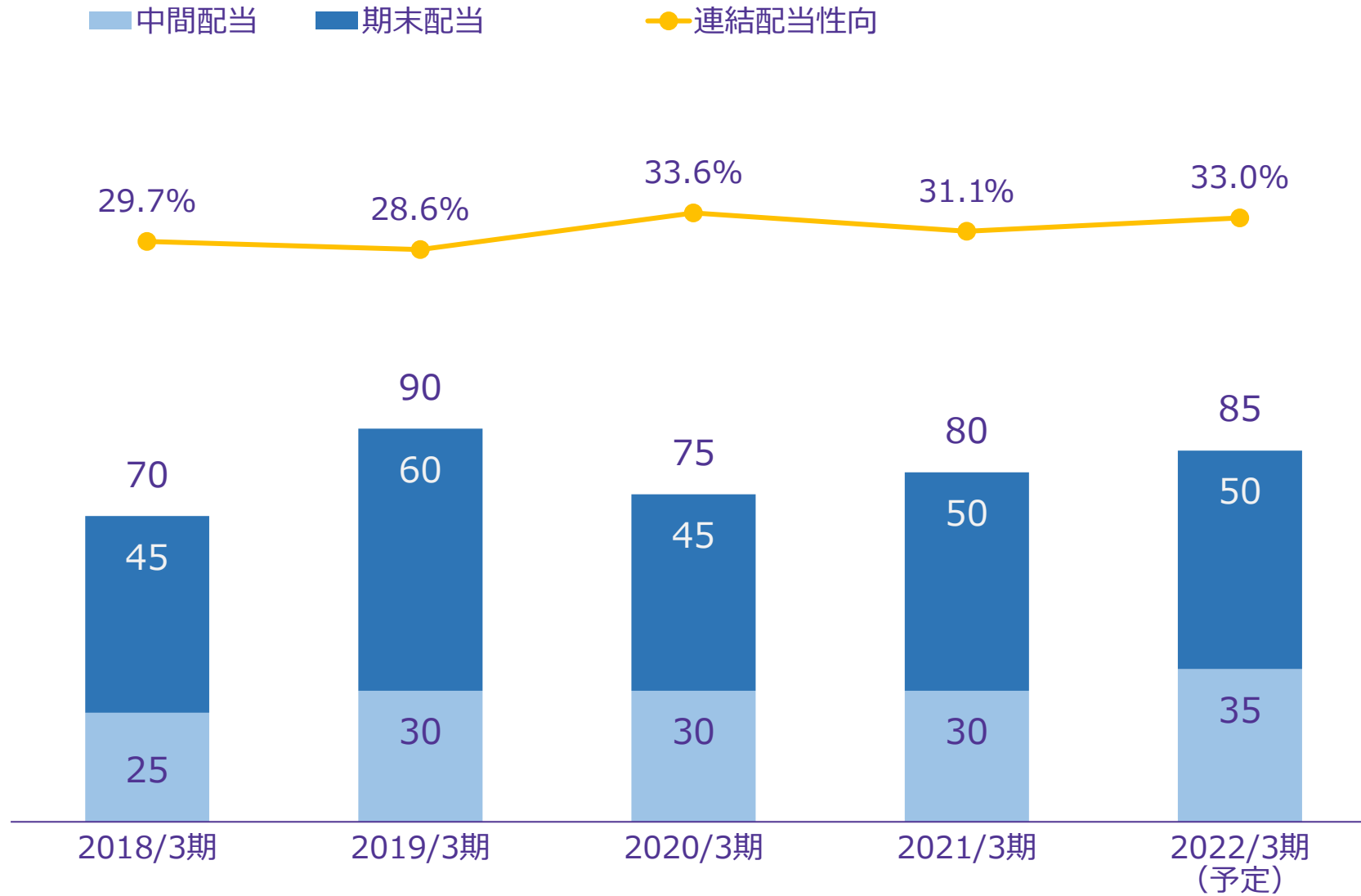


2022年3月期 業績予想 (連結)

(億円)

	2021/3期 通期	2022/3期 通期予想			
		5/11 公表	8/5 公表 (a)	11/5 修正公表(b)	増減額 (b-a)
受注高	4,510	5,200	5,250	5,650	+400
売上高	4,739	5,000	5,000	5,000	—
営業利益	445	470	470	450	▲20
経常利益	458	479	479	460	▲19
親会社株主に帰属する 当期純利益	323	340	340	325	▲15
1株当たり当期純利益	257.13円	269.91円	269.91円	257.90円	▲12.01円

(円)



目次へ

トピックス



ダイフクグループ経営理念等を改定

2021年10月に経営理念を改定しました。新しい経営理念「モノを動かし、心を動かす。」には、ダイフクの競争力の源泉である「モノを動かす技術」で、人々の暮らしや環境・人権といった観点を含む持続可能な社会の創造を目指していくという決意を込めています。

経営理念の改定に伴いブランドメッセージを「Automation that Inspires」に変更しました。

<新たな経営理念>

モノを動かし、心を動かす。

ダイフクは、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で、心豊かに生きられる社会を創造します。

私たちは、

- (1) 人と環境への負荷を最小化し、人権の尊重と責任あるものづくりを実践することで、持続可能な社会の実現に貢献します。
- (2) 世界のお客さまと誠実に向き合い、革新的技術と最適最良のソリューションでスマート・ロジスティクスを実現します。
- (3) 多様性を尊重する自由闊達な企業風土のもと、一人ひとりが変革に挑戦します。同時に、経営基盤を強化し透明性の高いグローバル経営を行います。

<ダイフクロゴとブランドメッセージの組み合わせ>

DAIFUKU
Automation that Inspires

「ダイフクグループ人権方針」を策定



国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、2021年10月に「ダイフクグループ人権方針」を策定しました。「人権の尊重」が事業と組織の持続的な成長における最も重要な責任の一つであると認識し、本方針に対する社員およびすべてのビジネスパートナーの皆さまのご理解と実践を通して、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【人権に対する基本的な考え方】

ダイフクグループは、社是「日新（ひにあらた）」の精神の下、創業以来変化する社会のニーズと課題に向き合ってきました。経営理念「モノを動かし、心を動かす。」は、マテリアルハンドリングを核とする「モノを動かす技術」で人が心豊かに生きられる社会を創造する、という決意を表しています。また、経営理念並びにグループ行動規範において「人権の尊重」を謳い、一人ひとりが自らの力を最大限発揮できる環境づくりに努めています。

私たちは、「人権の尊重」が、事業と組織の持続的な成長における最も重要な責任の一つであると認識し、事業活動を通じて起こり得る人権の負の影響を最小化することにより、その責任を果たします。

この方針は、ダイフクグループの事業活動を行う上で人権に関する考え方を明確にするものであり、ダイフクグループのすべての役員、従業員に適用されます。サプライチェーンを含め、事業に関連するビジネスパートナーにも、この方針に基づく理解と実践を期待し、人権尊重を協働して推進します。また、その実現のために、株式会社ダイフクの代表取締役社長を人権に関わる責任者とした社内体制を整備し、継続的な取り組みを実施します。

DAIFUKU

Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。